

# 学びのひろば

(学力向上委員会)

**【新学習指導要領全面实施】** 令和二年度より、新学習指導要領が全面实施されます。学習指導要領は、社会の変化に応じて改定されてきています。

今後 10～20 年程度で半数近くの仕事が自動化される、2045 年には人工知能が人類を超えともいわれています。予測困難な社会において、子どもたちが自立して活動していくためには、直面する様々な変化を柔軟に受け止め、主体的に新たな価値を生み出す力の育成が求められています。

新学習指導要領では、育成を目指す資質・能力が 3 つの柱に整理されています。課題を解決するとき、これまでの知識・技能や経験の中でどれが使えるか考え、新たに得た情報を組み合わせたり、関連付けたりしながら思考力・判断力・表現力等を養います。そして新たな学びに向かい、得た学びを人生や社会に活かそうとする力を高めていきます。

## 【具体的な内容（例）】

### ・すべての学習の基盤となる言語能力の育成

国語だけでなく、他教科でもレポートの作成や議論などを行い、言葉の力を育みます。

### ・外国語教育

3・4 年生で「外国語活動」、5・6 年生で教科としての「外国語」が導入され、外国語でのコミュニケーション能力の基礎を育成します。

**【学力調査の結果より】** 6 年生で行われた全国学力・学習状況調査、尼崎市で実施されたステップアップ調査の結果から、本校児童におけるいくつかの課題が見られました。

国語では、「資料を読み取り、理由や根拠を明確にして書く力」や、話の展開を踏まえた上で、「目的や条件に応じ必要な情報をもとに自分の考えをまとめる力」に課題が見られました。算数では、「複数の資料の特徴や傾向を関連付け、考察し判断する力」に課題が見られる他、基礎となる計算で誤答が見られたり、数量の関係性を図に表すことが理解できていなかったりしました。また記述問題では、無回答も見られました。

これらの課題を踏まえ、新学習指導要領のもと、児童の基礎学力の徹底と、論理的思考力や発展的な解決能力の育成に努めて参りたいと思います。

